

平成26年度

小・中学生フォーラム in 落合第二中学校



▲3年A組のみなさん



▲3年B組のみなさん



▲3年C組のみなさん

新宿区では、毎年、小・中学生と中山区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。

このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月7日(金)は、落合第二中学校(西落合1-6-5、校長:遠山孝典)の3年生100名と、「インターネットと私たち インターネットと落二中の私たち」をテーマに、区長と意見を交換しました。

各クラスから、ネットに関する良い点悪い点、気を付ける点を発表してもらいました。良い点は、「短時間でなんでも調べられる」「コミュニケーションツールとして便利」「動画や音楽が手に入る」などでした。悪い点は、「悪口を書き込まれる」「個人情報漏れる」「メールでは本当の気持ちが伝わらない」などの意見が出ました。気を付ける点は、「個人情報を書き込まない」「怪しげなサイトにアクセスしない」「よく考えて判断する」などが挙げられました。

区長からは、「今、区の消費生活センターで一番多い相談は、悪質なサイトからの金銭の請求と聞いた。こんな時は、すぐに親と一緒に専門家に相談してほしい。」と話しをしました。

また、仮想事例として、友達同士でラインをしていたが、相手以外が知りえないことが広まったことで疑ってしまい、相手の個人的な出来事をばらしてしまい、二人の間で問題が大きくなってしまった事例を話し合いました。

生徒からは、「一方的に疑って相手が嫌がる写真をばらまいたことは良くない」「もう一度直接会って確認すべきだ」といった意見が出ました。

最後に区長から「みなさんから活発に、色々な意見が出されたことはすごいと思う。人の意見を聞けることは大切。仮想事例を自分のこととして考え、意見を言ったことを嬉しく思う。インターネットをより良く活用し、立派に成長してもらいたい。」とエールを送りました。

